

鳥信 WEB 版 2020 年 7・8 月号

<筑後エリア>

*5月11日 キジ・橋本干拓 松富士将和

有明海水鳥調査の移動中に、柳川市橋本干拓地（沖の端川河口左岸）の麦畑横にキジ雄がいました、車から撮影しました。逃げるに逃げられず、じっとしていました。



▲キジ（雄）・橋本干拓 撮影：松富士将和

*5月14日 ブッポウソウの渡来情報 松富士将和

今年のブッポウソウ情報です。

一昨日（5月14日）、矢部附の栗原 浩暢さんから連絡がありました。

しかし、残念ながら、今年も1羽だけということで、早く、ペアが来てくれる事を祈っています。

*5月17日 筑後エリア各地の野鳥情報 池長裕史

説明) 福津市の岡部海都さんから、県内の野鳥調査から得られた筑後エリアの情報を寄せていただきました。

コロナで筑後方面の鳥見を控えてましたが、今日から再開しました。朝の内渡りの小鳥(さっぱりでした)、その後筑後川のシギとケリ探しが目的でした。

筑後川の河川敷で囁っているホオアカを見ました。ホオアカは筑後エリアで繁殖してますか？
場所は去年のオニカツコウの対岸で、田主丸町の鹿狩に降りる道の河川敷側です。

それから両筑橋と朝羽大橋の間でツバメチドリ2羽

城島町でケリ3カ所、大木町で1カ所。うち2カ所でヒナ確認。

筑後大堰上流側でコアジサシ1



▲コホオアカ・久留米市田主丸町菅原の筑後川 撮影：岡部海都



▲ツバメチドリ・朝倉市長渕の筑後川 撮影：岡部海都



▲ケリの雛・大木町絵下古賀 撮影：岡部海都

*5月23日 マガモの親子 岡本 正

17時頃、花畠駅から歩いて15分の金丸川、上中田橋の所に母親と子供3羽のマガモがいました。



▲マガモ（アイガモ？）の母子・金丸川の中田橋下 撮影：岡本 正

*5月24日 花立山の調査から 池長裕史

岡本さんと西本さんが担当しておられる第12次調査の花立山にお邪魔しました。

実は、花立山の探鳥会にも参加したことがなくて、初めての城山だったのですが、スギの植林が多くて暗い感じの耳納山とは異なり、広葉樹が多くて林相が豊かなように感じました。

山頂付近で見たヤマガラの幼鳥です。カラ類の幼鳥は同じような声で鳴くので、見つけられない判断が難しいですね。ヤマガラの幼鳥は成鳥のような色が出ないので、シジュウカラに似ているのですがシジュウカラ幼鳥の場合は細い「ネクタイ模様」があること、ヤマガラの場合は腹に黄色味が出ることなどで識別できます。近くでは嘴の形も違うことが分かります。



▲ヤマガラの幼鳥・花立山 撮影：池長裕史

*5月26日 ホトトギスの初認 松富士将和

夕方、ホトトギスの初鳴を確認しました。(ほぼ例年通りですね。

*5月26日 カッコウの声・広川町 松富士将和

広川町のファミリマート広川長延店の隣の長延の地蔵堂（すぐ先には別な「長延の精米所横の地蔵」もあります）周辺の林からカッコウの声が聞こえたとの連絡がありました。

*5月27日 カッコウの声・田主丸町 村上政利

カッコウの鳴き声を聞きました。田主丸町緑化センターの北、巨瀬川を渡った所に「ダイサギ、アオサギ」のコロニーがあります。その方面から鳴き声が聞こえました。時間は、午前10時頃です。

*5月26日 ブッポウソウ・3羽・矢部村 KT

午後4時過ぎに日向神ダムの西園橋へ行ってきました。やっと合うことが出来ました。

最初ブッポウソウは電線に止まっていましたが、すぐに赤い橋の巣穴に潜り込みました。餌を持って行ったのか、また直ぐに巣穴からでて来て、いつもの電線に止まりました。着いて直ぐの事でカメラの準備もしてなくて慌てていたから、巣穴に入ったのは2羽ですが、何羽出たのか把握できませんでしたけど、外の電線に3羽はとまっていました。

最初、ペアのブッポウソウが並んで止まり、もう1羽は少し離れていましたが、ペアに近づいてはちょっとかいを出すようで、その度にオス同士で争い、ペアのオスが勝つと、もう1羽はしばらくは離れて止まっていましたが、いつの間にかどこか樹々の中へ行ってしまったようです。その後は2羽しか見れなくなりました。

ですから3羽は必ずいましたが、4羽かどうかは確認できませんでした。

観察時間と場所は短く区切り、3か所で20~30分毎くらいにして回り、橋から50m以上離れている様にしました。



▲3羽のブッポウソウ・矢部村日向神ダム 撮影：KT



▲西園橋のハンドホールに入るブッポウソウ・矢部村日向神ダム 撮影：KT

*5月29日 矢部村の野鳥 池長裕史

ブッポウソウも渡來したとのこともあり、石橋さんが観察されたハヤブサのペア（5月11日の記録、6月号に掲載）のこととも気になっていましたので、矢部村に行きました。

ダムサイトのところで遠くにミサゴの巣が見つかりましたが、ハヤブサには出会えませんでした。

西園橋ではブッポウソウがペアでいて、交尾も観察できましたのでカップル成立のようです。営巣場所はいつも橋梁のホールで、巣箱には来ていなかったようでした。

昼食後、北矢部まで脚を伸ばし、御前岳、釈迦岳の県境まで行ってみました。

途中、杣の里溪流公園では、すぐ横をクマタカが飛んでくれました。この近さは初めてのことでした。

御前岳の麓ではオオルリ、センダイムシクイ、釈迦岳手前ではジュウイチも鳴っていました。



▲ミサゴの営巣・日向神ダム 撮影：池長裕史



▲クマタカ・杣の里溪流公園 撮影：池長裕史

*5月30日 フクロウ・八女市 池長裕史

気になっていた熊野神社のフクロウを見に行きました。成鳥を1羽見ることができました。
例年の巣立ちちは6月に入ってからのようですから、まだ育雛中でしょうか？

*5月31日 第12次の調査(池の山)など 江口浩喜

池の山の第12次の調査(繁殖期1回目)を実施しました。その後、日向神、熊野速玉神社に行ってきました。
【池の山】

雨の中での調査でしたが、アカショウビンの声がしました。また、あちこちでガビチョウが鳴いていました
(添付写真)。

【日向神】

その後、日向神に行って、ブッポウソウの確認を行ったのですが、西園橋、笹又橋、巣箱を掛けてある3カ所に行きましたが、確認できませんでした。地元の方の話では、今朝、西園橋では、2羽いたそうです。

【八女市熊野速玉神社】

日向神の帰りに、フクロウの確認に行ってきました。成鳥1羽のみ確認しました。毎年ヒナがいる巣穴は、穴の下の方は爪でひっかいたような傷もなくきれいでした。いつも観察されている近所の方(毎日のようにフクロウを観察されている方)の話によると、2羽の成鳥は確認されているそうですが、今年はまだ、ヒナは確認されていないそうです。この時期にヒナがいないとなると、繁殖していない可能性もありますね。

成鳥がいつもの個体とは、違う気がすることでした。

(補足:フクロウは6月4日に巣立ちヒナが確認されました。)



▲ガビチョウ・八女市星野村池の山 撮影:江口浩喜



▲フクロウ・八女市熊野速玉神社 撮影：江口浩喜

*5月の古処山探鳥レポート 野田（美）

今まで5月は九重の黒岳にヤイロチョウを見に（聴きに？）行ってきましたが、今年は古処山に通いましたので、1か月分まとめてのレポートです。

以前、「古処山登山道は鳴き声ばかりで姿が見つけにくい」と書かれていましたが、まさにその通りで、姿を確認できた鳥は少ないのですが、夏山の探鳥はどこもこんなものかと思いますので、姿を確認できた鳥を中心に報告します。

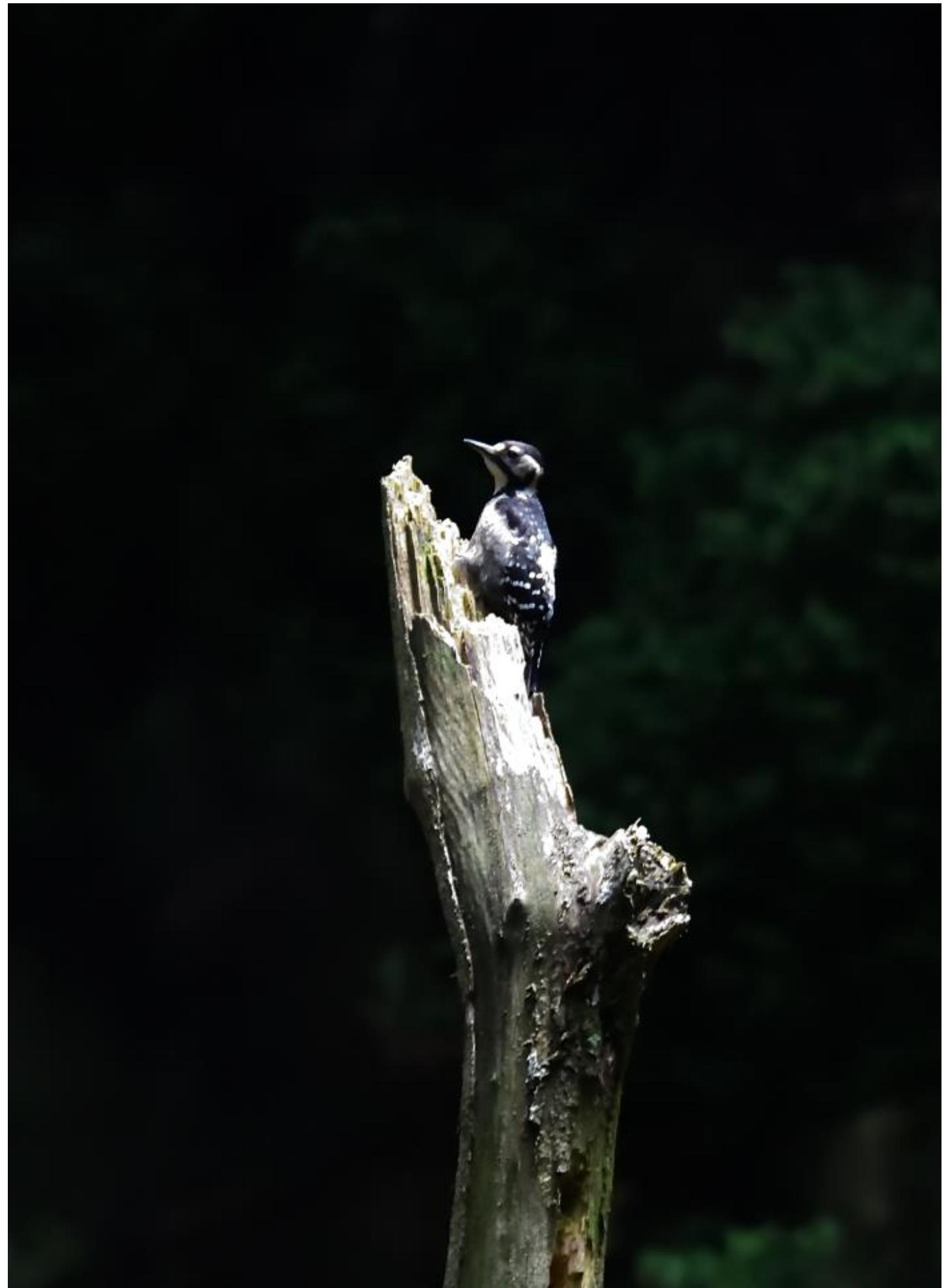
オオアカゲラ幼鳥は5合目付近での確認です。この写真だけではわかりにくいのですが、前頭部がうっすらと赤いこと、嘴が真っ黒でないこと、下尾筒にまったく赤みが無いことから幼鳥だと思います。アオゲラ、コゲラは山頂付近まで多数確認できましたが、オオアカゲラはこの1例のみです。ほかに5合目付近ではカワガラスの成鳥及び幼鳥も見られました。アオバトはよく鳴いているのですが、遠くに止まっているのを1度だけ確認できました。

アカショウビンは5月中旬ごろ、8合目あたりでよく囀り、姿も何度か見かけました。警戒心が強く、なかなか落ち着いて止まってくれませんが、8合目付近の杉林のところで距離はありましたが5分ほど止まって囀ってくれました。

山頂に現れるヒガラはあまり警戒心がなく、本当にカメラのフレームからはみ出すぐらいまで近づいてきますが、動きが速いので逆にフレームに入れるのに苦労します。山頂では絶えずソウシチョウが囀っており、ツツドリが頭の上を通過したこともあります。

ミソサザイ、オオルリ、キビタキ、クロツグミは8合目あたりまで囀っており、ミソサザイは普通に、オオルリ、キビタキは粘ってなんとか姿を見ることができましたが、クロツグミ♂は見つけた瞬間に飛ばれてしまいました。

その他、囀りだけで姿が確認できなかったのはジュウイチ、カッコウ、トラツグミ、センダイムシクイ、リュウキュウサンショウクイ等です。



▲オオアカゲラ・5月17日・古処山 撮影：野田（美）



▲アカショウビン・5月20日・古処山 撮影：野田（美）



▲ヒガラ・5月20日・古処山 撮影：野田（美）

*6月4日 フクロウ・八女市 富永 誠

熊野神社の巣立ちが気になって今日見に行ってきました5月7日に卵の殻がひとつ下に落ちていたからちょうど一ヶ月たち今朝巣立ちました。また、6月5日にもう1羽巣立ちしたことです。



▲フクロウの巣立ちビナ・八女市 撮影：富永 誠